

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 3 月 3 日作成)

小委員会名	集落共生デザイン小委員会		主 査 名：伴丈正志 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会		委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な地域・建築デザイン論に資するため、共生デザインをキーワードにして、各地でワークショップを開催し、集落レベルのトータルな地域空間形成の計画論を議論・検討する。 ・ その成果を出版企画としてまとめる準備を進める。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： なし		
	伴丈正志(長崎総合科学大学) 伊藤庸一(日本工業大学) 岡田知子(西日本工業大学) 重村力(神戸大学) 瀬沼頼子(昭和女子大学), 川窪広明(大手門大学) 後藤隆太郎(佐賀大学) 山崎義人(神戸大学) 大沼正寛(東北文化学園大学) 金城正紀(東京芸術大学) 田代久美(宮城県立大学) 加藤仁美(加藤仁美環境デザイン研究室)		
設置 WG (WG 名:目的)			
2007 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： 農村計画委員会	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. パネルディスカッション：誰が守る九州の美しいむら 参加者数 30 名 『農村計画部門研究協議会 / PD 資料：いかに美しい国土をつくるか - 国土形成の戦略的課題と展望 / 誰が守る九州の美しいむら』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大会研究パネルディスカッションの企画、資料集編集を実施した。 2. 当初計画していた地域での計画系ワークショップを実施できなかった。 3. 集落共生デザイン論と次年度以降の活動に向けた議論を進めた。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 催し物企画を実施することができず、活動がやや不活発であった。 2. 予算を配慮し各委員の研究成果を活かした進め方をもっと探る必要がある。